



時間や場所の制約を受けない新たな営業スタイル 「どこでも営業店」の実現

株式会社北國銀行
専務取締役 杖村 修司



弊行概要



名称	株式会社北國銀行
証券コード	8363 (東証一部)
本店所在地	石川県金沢市広岡2丁目12番6号
設立	昭和18年12月18日
総資産	3兆8,857億円
貸出金	2兆3,355億円
預金 (除く譲渡性預金)	3兆914億円
格付け	S&P:A- (長期) R&I:A+ (長期)
発行済株式総数	299,901千株
関連会社	北国総合リース (株) (株) 北国クレジットサービス 北国保証サービス (株) 北国マネジメント (株) 北国債権回収 (株)

店舗ネットワーク



都市・海外支店	
東京	1店舗
大阪	1店舗
名古屋	1店舗
シンガポール	1店舗

海外駐在員事務所	
上海	1か所

プラザ拠点

ローンセンター	11か所
マネープラザ	5か所
ほけんプラザ	5か所

A T Mネットワーク

北陸3県のA T M網

北國銀行 A T M 406台



コンビニATM (ローソン、E-net、セブン) 約1,000台

+

FITネット

いしかわマイネット

福井銀行 北國銀行 富山第一銀行

- 
- 
1. **北國銀行のワークスタイル**
 2. 新旧比較
 3. プロジェクトの全体概要
 4. プロジェクトの真の目的
 5. 施策効果と今後
- (参考) フィンテックの取り組み

1. 北國銀行のワークスタイル

- 行内は無線LAN導入によるオープンフロア
- 完全なペーパーレスを目指した設計



- 無線LANを導入
オープンフロアを実現
- キャビネットや引き出しが
無く 紙資料の保管が
できない環境

1. 北國銀行のワークスタイル

■ デスク上はシンクライアント端末と電話が基本



- 行員の机にはSurfaceと電話のみ
- 行員同士の顔が見えやすくなりコミュニケーションが活性化

1. 北國銀行のワークスタイル

- 会議はSurfaceを利用し、完全ペーパーレス
- Skype for Businessにより遠隔地とも会議実施





- オープンスペースでのミーティング
- 会議時は各自の端末を持参
- ムダな移動時間が削減

1. 北國銀行のワークスタイル

■ 外出先でも行内と全く変わらない環境



- 携帯電話回線等を利用して
外出先から利用可能
- 各種契約・申請は
ペーパーレスで完結
- 面談後の記録は
外出中の空き時間に登録

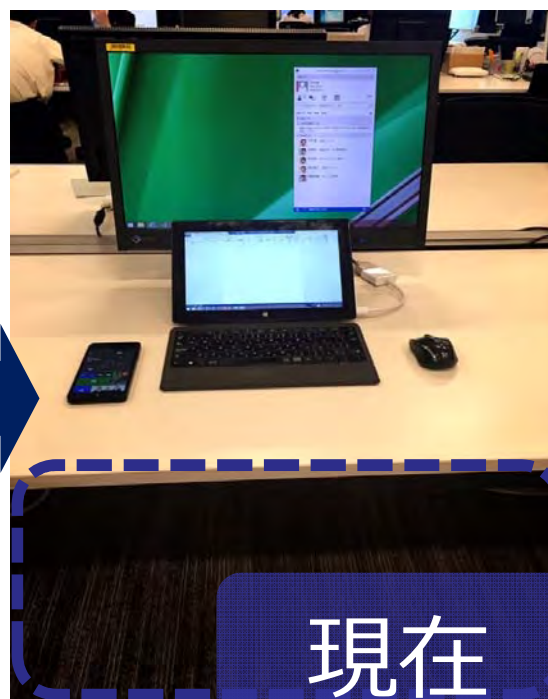
- 
- 
1. 北國銀行のワークスタイル
 - 2. 新旧比較**
 3. プロジェクトの全体概要
 4. プロジェクトの真の目的
 5. 施策効果と今後
- (参考) フィンテックの取り組み

2. 新旧比較 ～デスク回り、脇机～

- 基本方針は「ペーパーレス化」
- 紙書類が無いいため、デスク回りがスッキリ！



以前



現在

- 脇机がなく、
足元スペースがスッキリ！
- マルチディスプレイで
業務効率化

2. 新旧比較 ～キャビネット～

■ペーパーレスにより保存場所も削減



以前



現在



- 2人で1スペース
→5人で1スペース

2. 新旧比較 ～書類の廃棄～

■ 段ボール箱 約1万4千個分の紙を廃棄



- 本店移転時に
ペーパーレス化プロジェクトを
実施
- 第1回：8,200箱（平成25年）
第2回：5,700箱（平成26年）
の紙を廃棄

- 
- 
1. 北國銀行のワークスタイル
 2. 新旧比較
 - 3. プロジェクトの全体概要**
 4. プロジェクトの真の目的
 5. 施策効果と今後
- (参考) フィンテックの取り組み

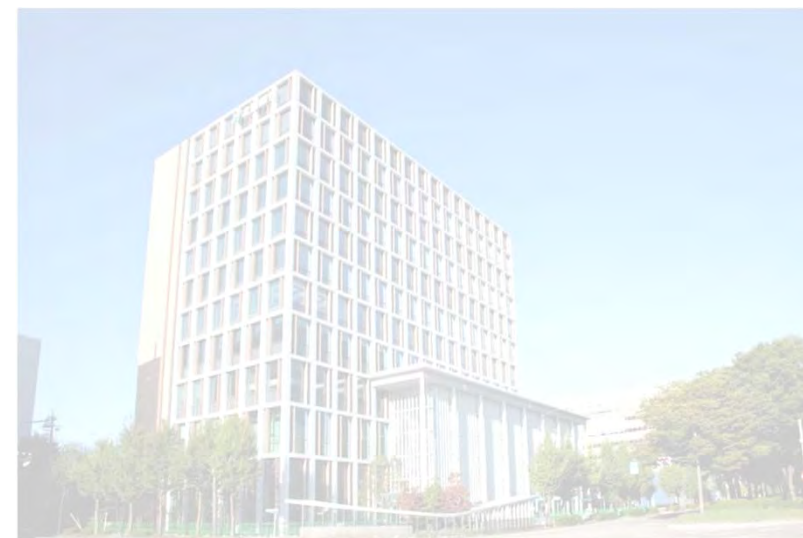
3. プロジェクトの全体概要

■コンセプト

①どこでも営業店

②行内コミュニケーション
コラボレーション活性化

③コスト削減・運用の効率化

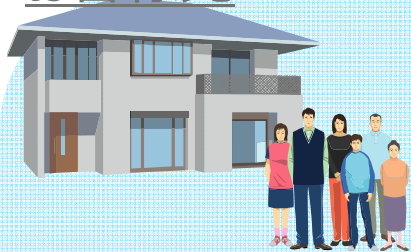


THE HOKKOKU BANK, LTD. All rights reserved.

3. プロジェクトの全体概要

①どこでも営業店

お客様先



どこでも同じ業務が可能



どこでも同じ
コミュニケーション環境



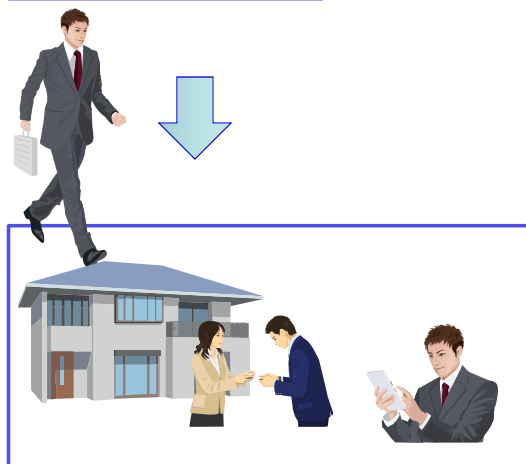
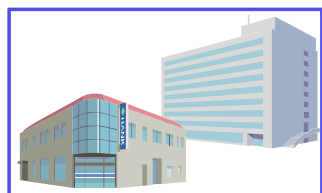
どこでも行員に
ダイレクトにつながる

THE HOKKOKU BANK, LTD. All rights reserved.

①どこでも営業店

■どこにいても営業店内と同じ業務が可能

- お客様先などの行外で 営業店における窓口業務（現金取引を除く）となる 情報収集・商談・コンプライアンスチェック・記録/報告を すべてできる環境を実現
- 端末は アプリケーションを含めデータを一切格納できず 行内/行外で同一の統一されたシンクライアント環境を利用



どこでも営業店

情報収集



イントラネット利用

商談



プレゼンス参照

画面でのシミュレーション

Web会議でのライブ説明

コンプライアンスチェック



- ・適合性判定チェック
- ・証跡蓄積
- ・申請

記録/報告



- ・日報作成
- ・CRMシステム

THE HOKKOKU BANK, LTD. All rights reserved.

3. プロジェクトの全体概要

②行内コミュニケーション・コラボレーション活性化

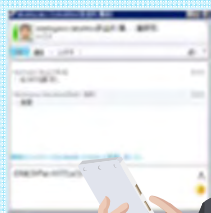
行内



- 連絡可能(V)
- 取り込み中(B)
- 応答不可(D)
- 一時退席中(E)
- 業務時間外(W)
- 退席中表示(A)



プレゼンス
(在席状況 + 予定の確認)



インスタントメッセージ



IP電話



オンライン会議

②行内コミュニケーション コラボレーション活性化 北國銀行

■ 自宅での利用

- 業務端末は自宅からも利用可能（災害対策も考慮）
- 業務に応じて利用できるシステムを管理・規定
- 休職時も 復職時に向け情報照会・教育コンテンツの利用が可能

在宅勤務時

<利用例>

◆業務に該当◆

- メール
- グループウェア
- 人事考課



休職時（産休・介護等）


<利用例>

◇業務に該当しない◇

- グループウェア
（通達・業務連絡）
- 教育コンテンツ



THE HOKKOKU BANK, LTD. All rights reserved.

- 
1. 北國銀行のワークスタイル
 2. 新旧比較
 3. プロジェクトの全体概要
 - 4. プロジェクトの真の目的**
 5. 施策効果と今後
- (参考) フィンテックの取り組み

4. プロジェクトの真の目的

■ よく言われている目的

- ペーパーレスでコスト削減
- IP電話でコスト削減
- システムコストの削減
- コミュニケーション多様化
- テレワーク対応
- 仕事のスピードアップ
- 働き方改革
- 生産性向上

間違いではないが・・・

4. プロジェクトの真の目的

■ 最終目標：真の狙い（戦略コンセプト）

結果的に 働き方改革につながり
生産性が向上し コスト削減にも寄与する

インフラを変えることでイノベーションが加速する



THE HOKKOKU BANK, LTD. All rights reserved.


4. プロジェクトの真の目的

■ 最終目標：真の狙い（戦略コンセプト）

- 顧客志向のビジネスモデル以外生き残れない 変革に耐える会社・組織へ
- 生き残るために組織能力を上げる（どう上げるのか）
- 高付加価値サービス対応組織へ
 - ① 中央集権組織から自立組織ミックス型へ
 - ② 双方向のコミュニケーションによる 新しいリーダーシップの形成
 - ③ 知識を出し合い 議論しスピーディに結論を出す組織へ
 - ④ 情報の民主化によるリスクの低減
みんなでチェック みんなで管理 権限の乱用もチェック
 - ⑤ 単一モデルから多機能組織へ移行

規制業種、右肩上がりの業績、プロダクトアウトの発想→マーケットインのシステム構想へ（組織全体の枠組みの問題？）



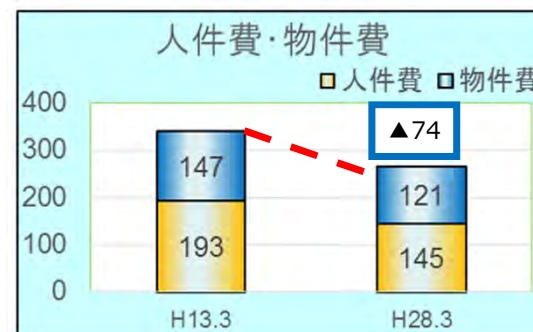
- 
1. 北國銀行のワークスタイル
 2. 新旧比較
 3. プロジェクトの全体概要
 4. プロジェクトの真の目的
 - 5. 施策効果と今後**

(参考) フィンテックの取り組み

5. 施策効果と今後

■ 生産性向上取組結果 – 15年間の推移 (計数) –

	平成13年3月期	平成28年3月期	増減
コア業務粗利益	53,423百万円	46,414百万円	△7,009百万円
資金利益	48,517百万円	40,811百万円	△7,706百万円
役務利益	4,601百万円	5,186百万円	585百万円
経費	35,870百万円	28,439百万円	△7,431百万円
コア業務純益	17,552百万円	17,974百万円	422百万円
預金	25,473億円	31,886億円	6,413億円
貸出金	19,598億円	23,355億円	3,757億円
貸出金利回り	2.20%	1.27%	△0.93%
有価証券利回り	2.49%	1.21%	△1.28%
預金利回り	0.31%	0.02%	△0.29%
経費率	1.46%	0.90%	△0.56%
OHR	67.14%	61.27%	△5.87%
10年国債利回り	1.27%	△0.09%	△1.36%
店舗数	143店舗+4代理店	104店舗	△43店舗
行員数 (ビジネススタッフ数)	2,300人 (483人)	1,782人 (505人)	△518人 (22人)

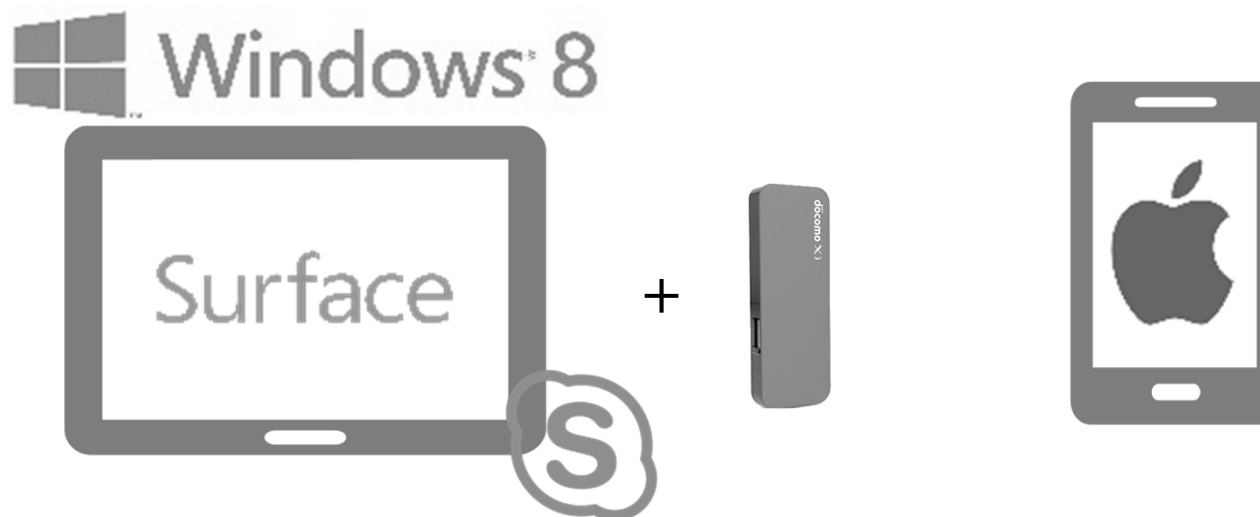


- 15年間で収益環境は大きく変化
- 資金利益の減少を経費削減で補てん

5. 施策効果と今後

■現在のユーザー環境

- 外出先ではUSBモバイルデータカードを使って行内に接続
- iPhoneは一部行員にのみ貸与
- 行内での通話用としてハンドセットも利用



5. 施策効果と今後

■ 今後のユーザー環境

- Windows Phoneを全役職員に貸与し 通話はこれで完結
- 外出先ではモバイルホットスポット機能で接続し VDIを利用
- ContinuumでVDIを利用可能に




Windows 10

スピーディな顧客対応を重視する
北國銀行が選んだのは、
Windows 10 Mobile。

北國銀行

時間や場所に縛られない多様な働き方を実現し、
行員一人ひとりの営業力を強化。


Skype for Business 導入による生産性の向上
企業導入を前倒した高度なセキュリティ機能
全行員分 2,400 台の MADOSMA QS01A を導入

Windows 10 Mobile の多彩なラインナップ

Microsoft

【平成28年9月28日付 日本経済新聞広告に掲載】

THE HOKKOKU BANK, LTD. All rights reserved.

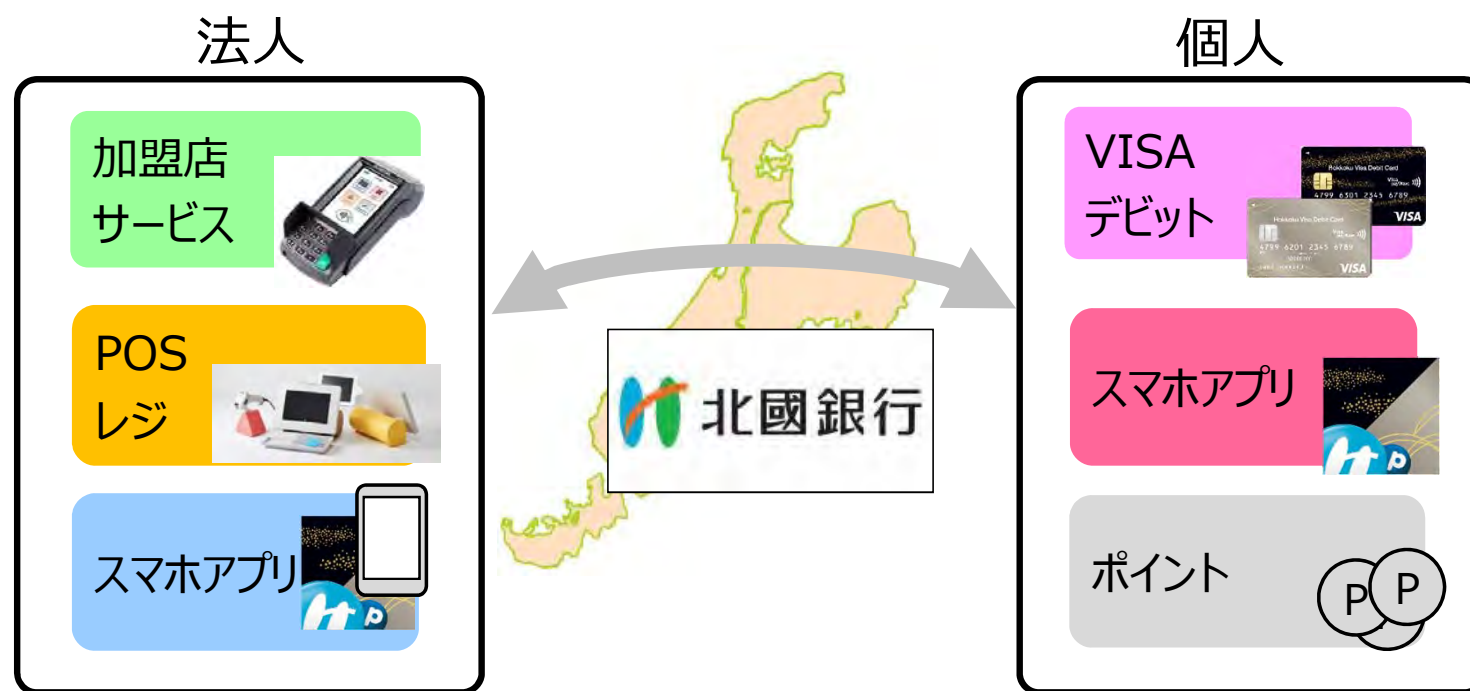
- 
1. 北國銀行のワークスタイル
 2. 新旧比較
 3. プロジェクトの全体概要
 4. プロジェクトの真の目的
 5. 施策効果と今後

(参考) フィンテックの取り組み

(参考) フィンテックの取り組み

■ カード・ポイント・アプリの展開

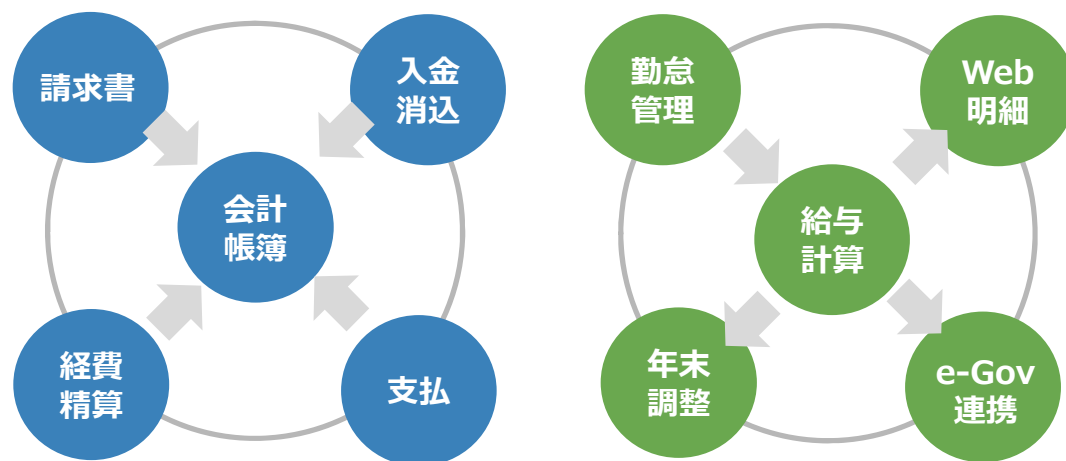
- 北陸地区の全てのお客さま（個人・法人）に、カード・ポイント・アプリを中心とした新たなサービスを発信



(参考) フィンテックの取り組み

■ freeeとの業務提携

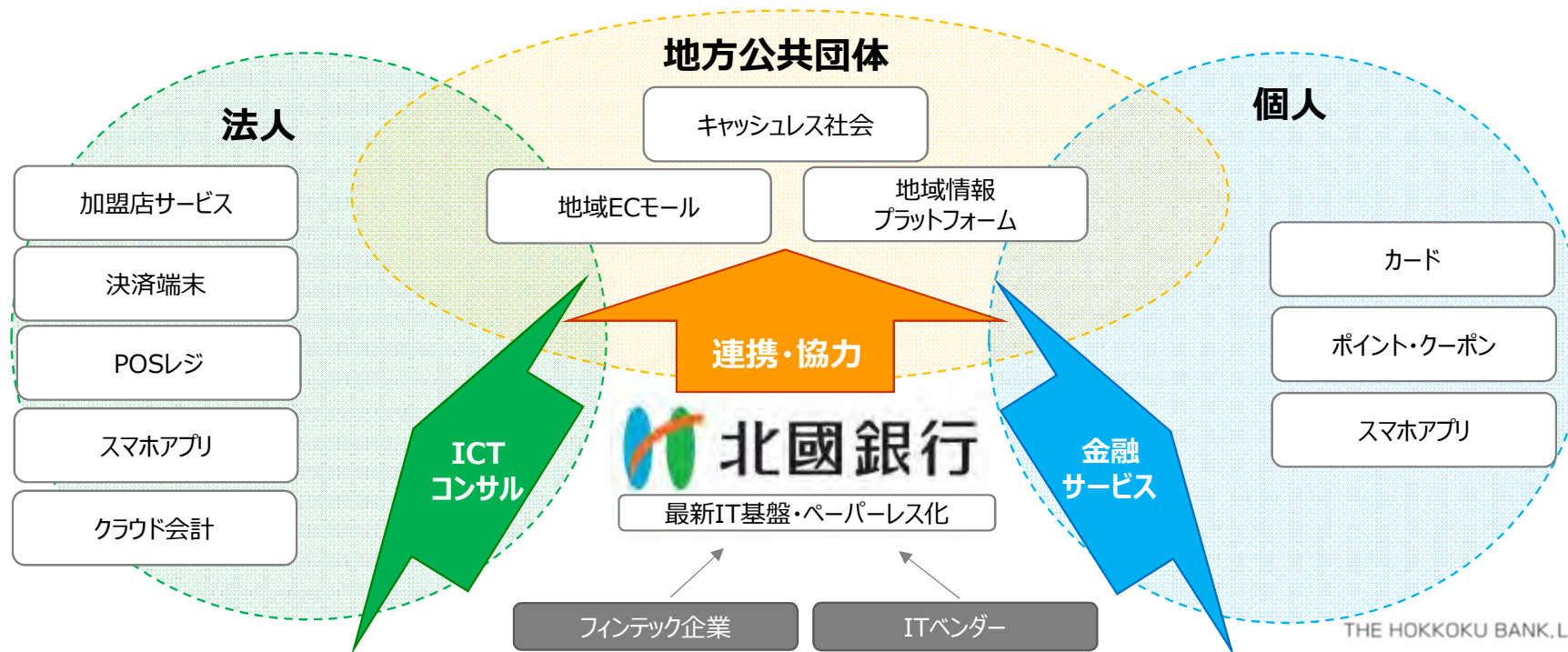
- 銀行・税理士にデータを共有し、お客さまをバックオフィス業務から解放
- 提携後6か月で、北陸地区のアカウント数3,000先増加



(参考) フィンテックの取り組み

■ 北國銀行の目指す姿

- お客様の多様なニーズ → ITを駆使した新たな「金融サービス」の提供
- 地域の生産性向上と地域経済の活性化への役割を追求



THE HOKKOKU BANK, LTD. All rights reserved.